

1. いま注目されている小諸市



住みよさランキング（東洋経済新報社）



2022年6月発行
都市データパック2022

全国 8 1 2 市区中

25位

※2022年-33位、2021年-171位、
2020年-84位、2019年-101位、
2018年-430位、2017年-406位、
2016年-374位、2015年-413位、
2014年-342位、2013年-345位
※「安心度」、「利便度」、
「快適度」、「富裕度」の
4つの指標で評価

過去7年の小諸市人口増減

年	総人口 (1/1現在)	人口増減	自然増減数	社会増減数
2022	40,788	▲143	▲310	167
2021	41,013	▲225	▲241	16
2020	41,381	▲241	▲259	18
2019	41,625	▲244	▲244	0
2018	41,802	▲177	▲207	30
2017	42,105	▲303	▲225	▲78
2016	42,462	▲357	▲221	▲136

住みたい田舎ベストランキング（宝島社）



2023年2月発行
田舎暮らしの本2023年版

人口3万人以上5万人未満のまち

総合部門 → **28位**

若者世代・単身者が
住みたいまち部門 → **27位**

子育て世代が
住みたいまち部門 → **22位**

2022年に大幅な社会増に！
今後の“人口増”の可能性もでてきた！

- ◆これまでの取り組み
 - ・移住・定住促進施策
 - ・企業誘致・起業支援施策
 - ・空き家バンク
 - ・コンパクトシティ
 - ・まちづくり
 - ・子育て・教育施策
 - ・医療・福祉施策
 - ・PR動画・広報戦略

+

等々

- ◆新たな取り組み
 - ・民間企業との連携
人・カネ・ノウハウ
など
 - ・市民、市民サークル
などが活性化
 - ・市民プレーヤーの
出現

等々

2. 最近の小諸市の動きから【産業・交流】



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

■郊外では新規出店や企業進出が続く

- ① (株) SAJ
パティシエ青木定治氏
の焼き菓子工場



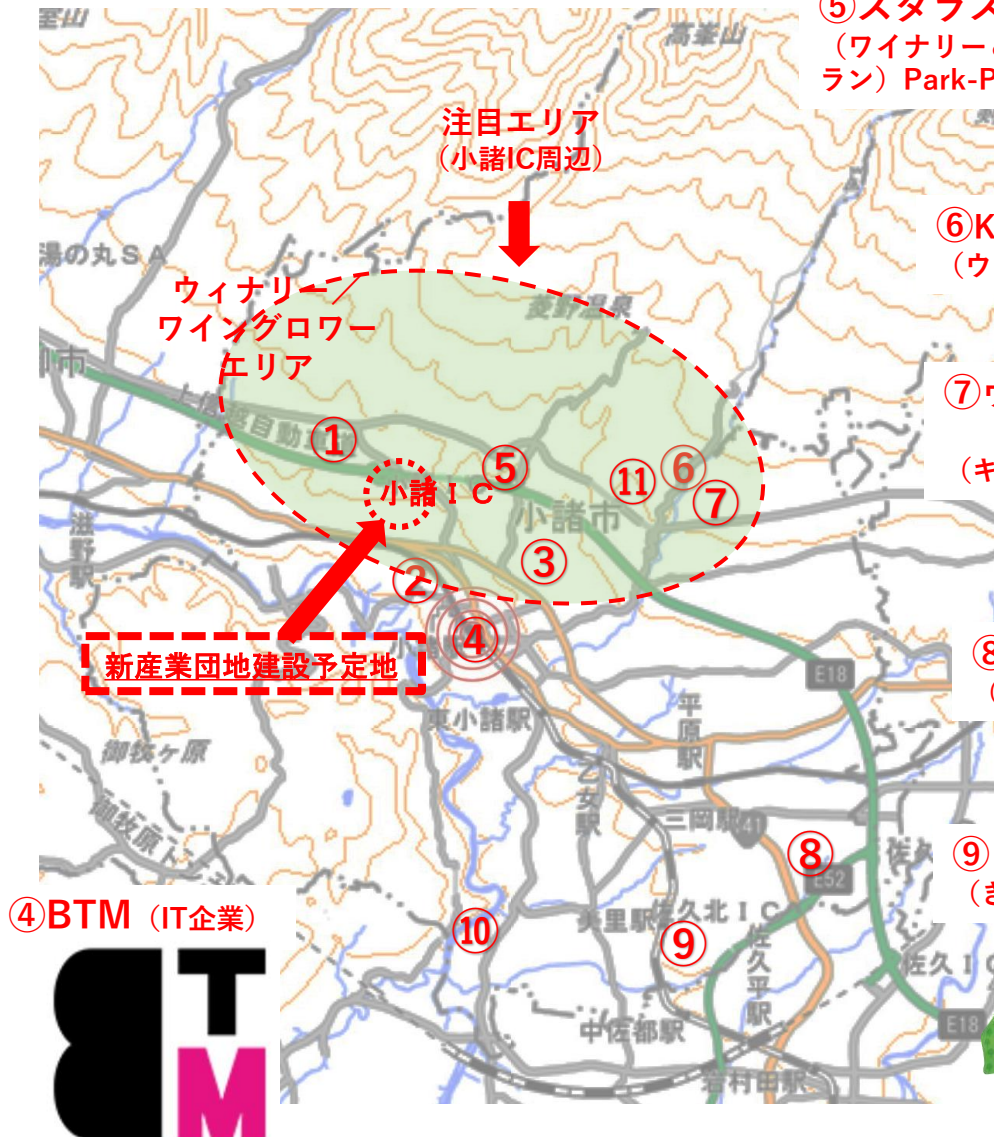
- ② BakeryCafe
HUGRICO
(パン製造)



- ③ アールシーコア
BESSの家 20区画
(住宅分譲)



- ⑩ あたらび
(キャンプ場)



- ⑤ スタラス小諸
(ワイナリー&レスト
ラン) Park-PFI活用



- ⑥ KOMORO蒸留所
(ウイスキー蒸留所)



- ⑦ ウイスラー
スカイベース
(キャンプ場)



- ⑧ HABA
(化粧品製造)



- ⑨ (株) ホクト
(きのこ製造)



- ④ BTM (IT企業)



- ⑪ KOMOROBI
(キャンプ場)

3. 最近の小諸市の動きから【産業・交流】



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

■ 新規出店の増加 (3年程度)

歴史的な建物が残る旧北国街道沿いを中心に、移住者や民間事業者の進出が増加。特に町屋を改修・活用した店舗が多くみられる。

①小諸駅のみど (カフェ)



⑩バーZizz (バー)



⑬やまさだ (中華そば)



⑭ヘアサロン・リトル (美容室)



⑮ヘアサロン・パルテ (美容室)



⑯ローストジョーカー (お弁当)



⑰ビストロアオクビ (イタリアン)



⑱洋裁屋atorie (洋裁)



②清野商店 (そば)



③エキューブこもろ (ワイン地酒バー)



④ラックブラン (ハンバーガー)



⑤イノベーションハブこもろラボ (IT)



⑥ねこのや (雑貨・カフェ)



⑧ハグリコ (カフェ・パン)



■ 町屋を改修・活用
■ その他空き家を改修・活用



◎KOMORO GOHONJIN
11月OPEN予定

★味噌ラーメン店
7月OPEN予定

⑦粉花 (蒸しパン)



⑨揚羽屋 (カフェ・食事・宿泊)



⑪FLORO CAFÉ (花屋・飲食)



⑫LUFT (古着)



⑲荒町ゲート (宿泊・雑貨など)



⑳合間 (コワーキングスペース)



㉑コモド (雑貨・事務所)



㉒薪窯パン ホトトギス (パン)



4. 最近の小諸市の動きから【生活基盤・協働】



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

産学官連携2021

市×(株)カクイチ×事業構想大学院大学

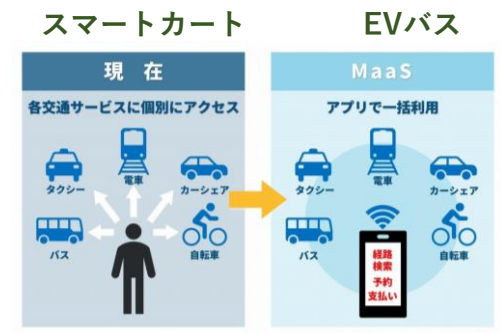
→ 農業振興事業とMaaS事業で連携

※次世代公共交通 = MaaS (マース)

とは、鉄道、バス、タクシーやライドシェア (相乗り)、シェアサイクルなど多様な公共交通をITでシームレス (つなぎ目のない) に結びつける事業



← 予約制相乗りタクシー
こもろ愛のりくん
※(株)まちづくり小諸に運行委託。H27～から市内全域で運行



民間の力 (資金・人・ノウハウ) との共創によるまちづくり①

市×UR都市機構×(株)まちづくり小諸×(株)カクイチ×ニューラルポケット(株)×こもろ観光局

2022. 2. 3 DX社会実験の実施に関する協定を6者で締結



DXによる情報発信とMaaSによる新交通との組み合わせ社会実験型サービス

→ ①DXによる情報発信

地図情報型サービス「こま～す」
WEBサイト「緑JOY!小諸ポータル」
デジタルサイネージ「こもろタッチ」

②MaaSによる新交通

EVバス「こもこむ号」と電動カート「egg」の経路検索・チケット決済、しなの鉄道との連携

③官民共創による社会実験

こもろまちタネプロジェクトで構想し、UR都市機構の支援で実現



5. 最近の小諸市の動きから【人口増へ向けた施策】



人口動態における自然増への挑戦

●特に2022年に生まれた**新生児数は79万9728人**。
1899年以降で初めて**80万人を下回る**

若者の結婚支援策の充実



若者が結婚しやすい環境整備⇒出生率の向上につなげる。
具体的には、結婚相手との出会いの場の提供や、結婚資金の助成など



少子化対策

●毎年国内で年間**60数万人の人口が減少**（島根県1県分の人口の喪失）
昨年は**75万人が減少**（福井県1県分）

UIJターンのファミリー層の支援



【対象者】東京圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）、愛知県、大阪府から移住する方が対象

【支援金額】

単身世帯の場合：60万円/人 2人以上世帯の場合：100万円/世帯
※令和5年4月1日以降の転入の場合⇒ 2人以上世帯の場合で、18歳未満の子どもと同居する場合、子ども1人当たり100万円を加算

子どもを産み、育てる環境整備

妊娠・出産・子育てについての情報提供。育児における悩みや不安を抱える親たちに対して、子育て支援を充実させることが大切。例えば、保育園や幼稚園の拡充、母子健康支援センター、子育て支援センターの充実、助成金など



働きやすい社会の実現



女性が働きやすい社会を実現することで、出産後も働き続けることができる環境を整えることが重要。具体的には、育児休暇制度の拡充や、フレキシブルな働き方の導入、子育て支援施設など

教育や医療・福祉の充実



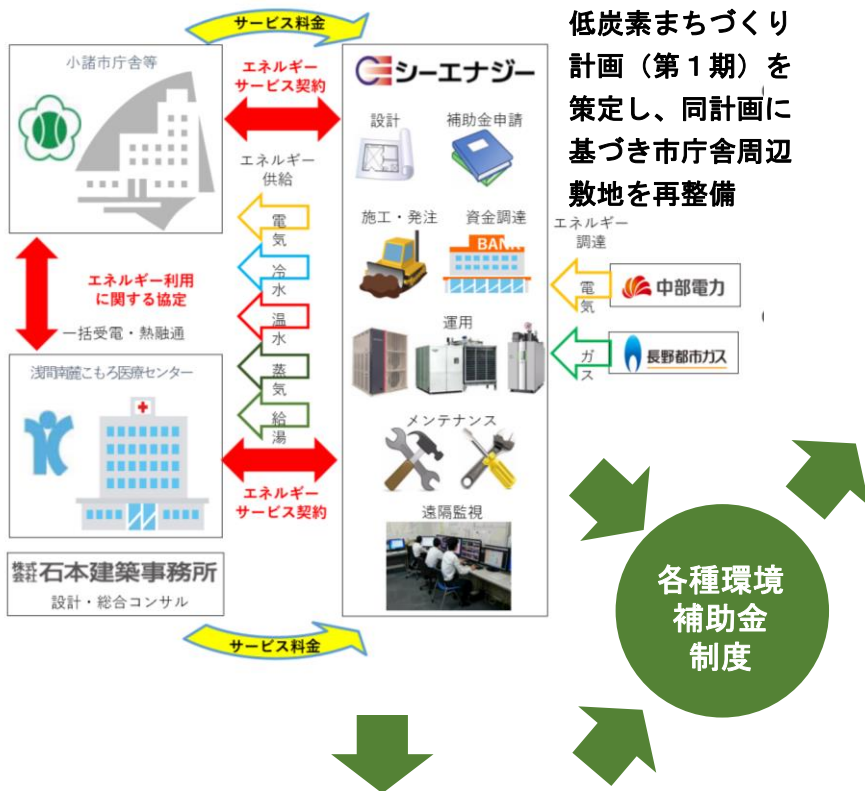
教育の充実は大きな関心事（「教育移住」も多い）。教育環境やカリキュラムの改善、教員の質の向上、学校施設の整備、ICTを活用した教育の取り組みの充実⇒学校再編、奨学金など

医療・福祉の充実も大きな要素となる。幸いにして小諸エリアは医療が充実。福祉医療費の窓口無料化（実施済）

6. 最近の小諸市の動きから【環境】



低炭素まちづくり計画（第1期2013年～）



気候非常事態宣言（2020.10.23）

市議会の「気候非常事態宣言に関する決議」を受けて、市長が「小諸市気候非常事態宣言」を行い、この中で「2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言。

小諸市ゼロカーボン戦略推進本部設置（本部長：副市長）

2022.8.31
小諸市ゼロカーボン戦略推進本部

	基準年	中期目標	長期目標
温室効果ガス排出量	2010年	2030年 50%減	2050年 ゼロカーボン



ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス（カーボン）の「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすること。

小諸市ゼロカーボンシティの実現に向けた基本協定

2022.12.16
小諸市／信州大学工学部／シーエナジー
石本建築事務所／こもろ医療センター
都市再生機構東日本都市再生本部
URリンケージ



第3回 脱炭素先行地域に選定（2023.4）

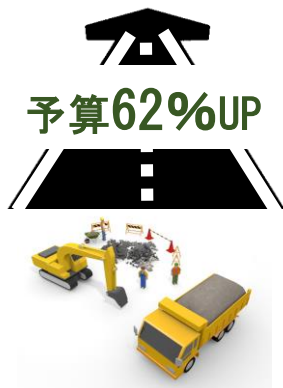


2023.6.7
西村環境大臣より、脱炭素先行地域認定証を受け取る。コンパクトシティ施策を脱炭素の取り組みに発展させ、地域資源と経済の循環を創出し、まちの持続性と活気を高めていく。

7. 最近の小諸市の動きから【その他の諸課題】



市単道路等整備事業



区からの建設事業申請箇所について効率的・計画的に市道道路改良、舗装改良、側溝改良を行う。また、道路施設の長寿命化及び修繕を行い、持続可能な道路網の構築を確保する。

保育士確保に向けた取り組み



将来にわたりより良い保育環境が提供できるよう、多様なニーズに合った保育の実施と需要を満たす保育施設の受け入れの確保を進めるほか、引き続き保育園の再配置計画の策定を進める。

保育士1人当たりの受持ち可能幼児数

0歳児	1.2歳児	3歳児	4.5歳児
3人	6人	20人	30人

小諸市学校再編・高校再編

子どもたちの学びのあり方や、公共施設管理計画を踏まえた学校施設のあり方を決定する。極めて重要な問題であるため、しっかりとした計画を策定していく。

また、高校再編については、新校の柱である「地域と連携した学び」や「本物に触れる学び」について市として協力し、より良い学校となることを目指す。

校舎の跡地を積極的に利活用していく。



【新校で重視する学びの姿勢】

主体的により良い社会の実現を目指す姿勢 何をどのように学ぶのか探究する姿勢

《新校の学びの柱》

地域と連携した学び 学科・教科横断型の学び 本物に触れる学び

○多様性を大切にする学び
○アクティブな学び
○小諸ならではの学び

小諸共学共創コンソーシアム
地域のみなさんと共に学び
地域の未来を共創

商業科 普通科 音楽科

学科・教科横断型の授業を展開、実社会をフィールドとした3科のハーモニー

○商業の専門性を伸ばし、地域を舞台にした実践的な学びを通して、未来を拓くイノベーションの担い手の育成を目指す

○協働的に地域課題を探究する学びを通して、多様な道路への可能性を追求し、高いレベルでの自己実現を目指す

○音楽の専門的な学びに加え、他科と融合した諸活動を通して、世界を舞台に、それぞれの夢を実現する力を養成する

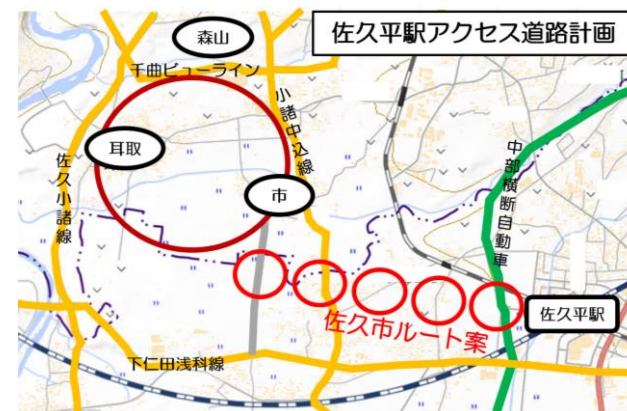
主体的・協働的に生き方や学ぶ意義を考える、新校独自の探究のプログラム

◆小諸商業高校の定時制商業科の学びは新校に継承

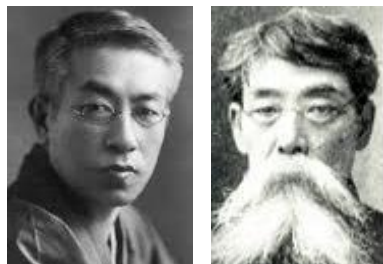
佐久平駅アクセス道路の実現

佐久平駅アクセス道路は、佐久平駅から、小諸市大字市及び耳取地籍に計画している道路。

佐久市及び長野県と連携を図りながら着実に進める。現在「調査」段階で、佐久市も現在同じ調査を行っている。佐久市側のルート案が決まってきたので、小諸市においても、調査が完了次第、地元協議会と共にルート案を作成していく。



8. 関係人口と定住人口の創出



※ファーストペンギンとは、群れで行動するペンギンのうち、魚を捕るために一番最初に海に飛び込む勇気あふれるペンギンのこと。そこから転じて、ベンチャー精神あふれる起業家など新しい挑戦をする姿勢のことを表す。海には天敵の存在や荒波に流されてしまうといった危険があるが、食糧である魚が生息する場所でもあり、より多くの魚を獲るチャンスがある。

小諸を支えてきた2つのDNA。

- 1 小諸は歴史的に**移住者と地元住民の交流が“化学反応”**を起こし、**まちの発展につなげてきたDNA**
例) 小諸義塾 木村熊二塾長や島崎藤村 → 産業振興、文化芸術振興
- 2 時代を先取りする**“ファーストペンギン※”**として、**様々なチャレンジをしてきたDNA**
例) 長野県初の図書館、動物園 最近ではコンパクトシティの取り組み

コロナ禍により移住者の増加、社会構造の変革による関係人口の増加により多くの**“面白い人たち（未来を創る多様な人材）”**がまちづくりに浸透し始めてきている実感

→小諸の2つのDNAにより新たな化学反応やチャレンジに期待

地元住民があたりまえと思っている
地域資源が、実は他には無い魅力となっている。
“小諸だから選ばれる”
“小諸でなければできない”がカタチになりつつある。
市民が「小諸を知り、愛し、誇りに思い、行動する」
＝シビックプライドにつなげていきたい。